



神様、もう一度

R18

俺が最後に見たのは赤い吸血鬼だった





おはよう
純哉くん！

そっかだ

俺たちはこの城に住んでいる
吸血鬼を倒すために

もう一ヶ月も
闘ったままで心配したんだよ

やっとなげるわー

でも他の仲間も
全員殺されて

俺もあの時
この吸血鬼に



あつ
駄目だよ！

ぐいっ

熱かったでしょ
こういう十字架を素手で
触ったら火傷しちゃうよ

こういうお威い用の
十字架には気を付けてね

あともう太陽が出ている
時間は歩けないよ

それと……

……
何言ってる……

あれ？
気が付いてないの？



オレね
純哉くんのこと
吸血鬼にしたんだ！



純哉くんのこと
ずっと待ってたんだ

他のニンゲンは
みんな死んじゃったけど……
純哉くんがいることに
気が付いて良かったよー



ねえお座空いたよ
ごはん持って来たんだよ

これが十代の女の子の血で
こっちは二十歳に
なったばかりの…

あつ男が良ければ…



あーっ
もったいない！

せつかく純哉くんのために
美味しい血をたくさん
用意したのに！





ありえぬ……
吸血鬼？俺が？

でも

床に落ちて
いる血は
甘い蜂蜜の
ような
匂いがした
気がした



純蔵くん

いい加減
血を飲んでよ



：別に
決まってるだろ
何回も言わせんな

えーっ



もう諦めてよー……
何回も出ていこうとして
わかったでしょ！

オレたちは太陽が出ている
ときは外に行けないし

ニンゲンのゴハンも
食べられるけど血を飲まないと
フラフラしちゃってわけが
わからなくなっちゃうんだよ！

妻の言ってる
ことは本気で

太陽を見るのも辛くて
もう夜の闇しか
行動できないと分かった

この城の主の妻は
ここに何百年も前から
一人で住んでいるらしい

新では凶悪な吸血鬼と
囃されていたけど

無難に人を替っていたのは
もろずつと昔の話だとも買っていた
血はその手の医薬などから
買って生活しているらしい

俺がここに来てから
話し相手が見つからないのかほとんどの
時間を一人で過ごしている







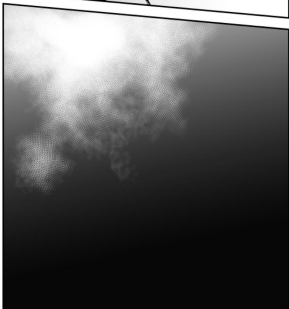


駄目だ





だめなのに





何様...っ
何して...!?

純哉くんの飲み方
ちよっと痛いよ

オレたちはね

優しくゆっくり
飲むのがマナー
なんだよ



オレがたくさん
オレたちのこと
教えてあげるね！

おかし
な気が
する

お腫いっばいになったり？

……

飲むの上手になったね
はじめは痛かったなあ

……悪い



今度はオレの番だよ



もう何年経ったんだろう

俺は妻の血だけを
飲んで生きている

ほんの少し
買っただけけど

もう人間に買れないのなら俺は……









もうニンゲンには
戻れないのに

純殿くんは
真面目だね

はま

ほろろ
はま

わ





妻は満月の日に
必ず一人になる

誰にも見られないように
居なくなる

今なら少しだけ
わかるのかもしれない

……独りになるのは
寂しい

だぞとの俺を

委も
寂しかったのか？

こんな場所
初めて来たな！



井ノ





純哉くんこっちまで来ちゃったの？

でもちやうど良かった
逢いたいものがあつたんだ

ここに来たのは初めてだっけ？
純哉くんが前に教会が欲しい
って言ってたでしょ？

だから地下に造つたんだ
純哉くんの肖像画も
描いてもらったよ

そうだ！

街のニンゲンは勝手に襲うなってヤクソク
ちやんと守ってるんだ

オレ毎日ここで
お祈りしてたんだ

ここにいるとちよっと
嬉しいんだけど……

神楽くんにもまた会いたいなあって

カミサマとか懐けてなかったけど……
でもちちゃんと会えたね

ほら！



やっぱり純哉くんは
こっちの色のほうが
似合うね！

かな…で

一命重くはなすべしと
願ひたまへし